

第168回中小企業景況調査

2022年4～6月期

青森県版

2022年7月

青森県商工会連合会

目 次

I 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 回収状況	1

II 要 約

1. 今期の景況	2
2. 来期の見通し	2

III 概 況

1. グラフ	
業況判断・売上額・製品商品在庫の動向	4
経常利益・資金繰り・従業員数の動向	5
2. 表	
業 況 判 断	6
売上額、売上(加工)数量・客数	7
輸出額・在庫水準・価格(仕入れ単価、売上単価)	8
経常利益・金融(資金繰り・長短借入難易度・借入金利)	9
従業員数・従業員数過不足	10
設備投資実施割合・生産設備過不足	11
経営上の問題点	12

I 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 2022年6月1日
(2) 調査対象期間 2022年4～6月期実績及び2022年7～9月期見通し
について調査した。

2. 調査対象

製造業、建設業については、資本金3億円以下又は従業員300人以下の企業、卸売業については、資本金1億円以下又は従業員100人以下の企業、小売業については、資本金5千万円以下又は従業員50人以下の企業、サービス業については、資本金5千万円以下又は従業員100人以下の企業を対象とした。

(なお、各産業のうち「小規模」とあるのは、製造業及び建設業における従業員20人以下の、卸売業、小売業及びサービス業における従業員5人以下の企業規模を指し、その他は「中規模」と区分した。)

3. 調査方法

原則として、青森県の商工会、商工会議所の経営指導員、及び中小企業団体中央会の情報連絡員が訪問面接し、聴き取りによって行った。

4. 回収状況

288企業のうち、268企業の回答を得た（有効回答率 93.1%）。

	調査対象企業数		有効回答企業数		有効回答率 (%)
製造業	55	(19.1)	54	(20.1)	98.2
建設業	35	(12.2)	34	(12.7)	97.1
卸売業	20	(6.9)	19	(7.1)	95.0
小売業	72	(25.0)	65	(24.3)	90.3
サービス業	106	(36.8)	96	(35.8)	90.6
合計	288	(100.0)	268	(100.0)	93.1

注：()内は構成比 (%)

Ⅱ 要 約

1. 今期の景況

2022年4～6月期の全産業の業況判断DI（前年同期比「好転」－「悪化」）は、前年同期比（2021年4～6月期）の $\Delta 35.6$ から $\Delta 28.5$ と $+7.1$ とやや好転した。産業別で見えていくと、サービス業 $+13.1$ （ $\Delta 43.6 \rightarrow \Delta 30.5$ ）、製造業 $+11.8$ （ $\Delta 34.0 \rightarrow \Delta 22.2$ ）、小売業 $+5.6$ （ $\Delta 51.7 \rightarrow \Delta 46.1$ ）、と持ち直した。卸売業は 0.0 （ $0.0 \rightarrow 0.0$ ）と昨年と同水準を示した。建設業は -8.7 （ $\Delta 3.0 \rightarrow \Delta 11.7$ ）と悪化した。

全産業の業況水準判断DI（今期の水準「良い」－「悪い」）は、前年同期（2021年4～6月期）の $\Delta 35.4$ 、前期（2022年1～3月期）の $\Delta 46.5$ に対して、今期は $\Delta 31.4$ となった。産業別に前年同期と比して見えていくと、卸売業 $+13.6$ （ $\Delta 18.8 \rightarrow \Delta 5.2$ ）、小売業 $+12.2$ （ $\Delta 59.8 \rightarrow \Delta 47.6$ ）、サービス業 $+5.0$ （ $\Delta 40.4 \rightarrow \Delta 35.4$ ）となった。製造業 -5.3 （ $\Delta 16.9 \rightarrow \Delta 22.2$ ）、建設業 -3.1 （ $\Delta 12.1 \rightarrow \Delta 17.7$ ）と低調となった。

売上額DI（前年同期比「増加」－「減少」）については、全産業では前年同期 $\Delta 31.7$ に対して、今期は $\Delta 23.7$ となり $+8.0$ と回復した。前期（2021年1～3月期 $\Delta 38.7$ ）と比して、大幅に回復したといえる。産業別では、前年同期と比して、製造業 $+28.3$ （ $\Delta 32.0 \rightarrow \Delta 3.87$ ）と2期連続で大幅に回復、小売業も $+18.4$ （ $\Delta 49.2 \rightarrow \Delta 30.8$ ）と増加となった。卸売業は $+6.3$ （ $\Delta 6.2 \rightarrow 0.1$ ）、サービス業 $+3.2$ （ $\Delta 34.1 \rightarrow \Delta 30.9$ ）と微増となり、建設業は -8.3 （ $\Delta 3.1 \rightarrow \Delta 36.4$ ）と大幅に減少した。

経常利益DI（前年同期比「好転」－「悪化」）においては、全産業では、前年同期 $\Delta 31.9$ 、前期 $\Delta 47.1$ に対して今期は $\Delta 37.8$ となった。産業別では、前年同期で比べると製造業 $+2.6$ （ $\Delta 35.9 \rightarrow \Delta 33.3$ ）と微増、卸売業は 0.0 （ $0.0 \rightarrow 0.0$ ）と同水準となった。サービス業 -5.8 （ $\Delta 34.8 \rightarrow \Delta 40.6$ ）、小売業 -8.7 （ $\Delta 43.5 \rightarrow \Delta 52.2$ ）と悪化し、建設業は -17.3 （ $\Delta 12.1 \rightarrow \Delta 29.4$ ）と大きく悪化した。

（注） DIとは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から、「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

なお、前期比（季調済）は、X12-ARIMA（X11デフォルト）により季節調整を行った値である。

2. 来期の見通し

全産業としては、前年同期と比して、売上の改善は見込まれたものの、経常利益は伸びず、仕入単価の上昇が顕著となっている。つまり、需要・消費の回復が見込まれるものの「原材料高」「仕入価格の上昇」によって、収益を圧迫している状態である。業種別では建設業の不調が目立つ。売上額DIの大幅な落ち込み、経常利益DIの悪化傾向が続いており、従業員数DI、従業員数過不足DIでも大きく悪化の傾向を示している。

新型コロナからの経済回復どころか、第7波、世界的な資源高、円安傾向と懸念材料ばかりの中で、スタグフレーションの不安さえも高まってきている。そうなると回復傾向にある生活関連消費を低迷させ、幸先の不透明さが耐久消費財やレジャーへの消費を躊躇させる。これまでのコロナ禍とは異なる状況へのリスク対応が求められる。

Ⅱ 概 況

全産業（2022年4～6月期）

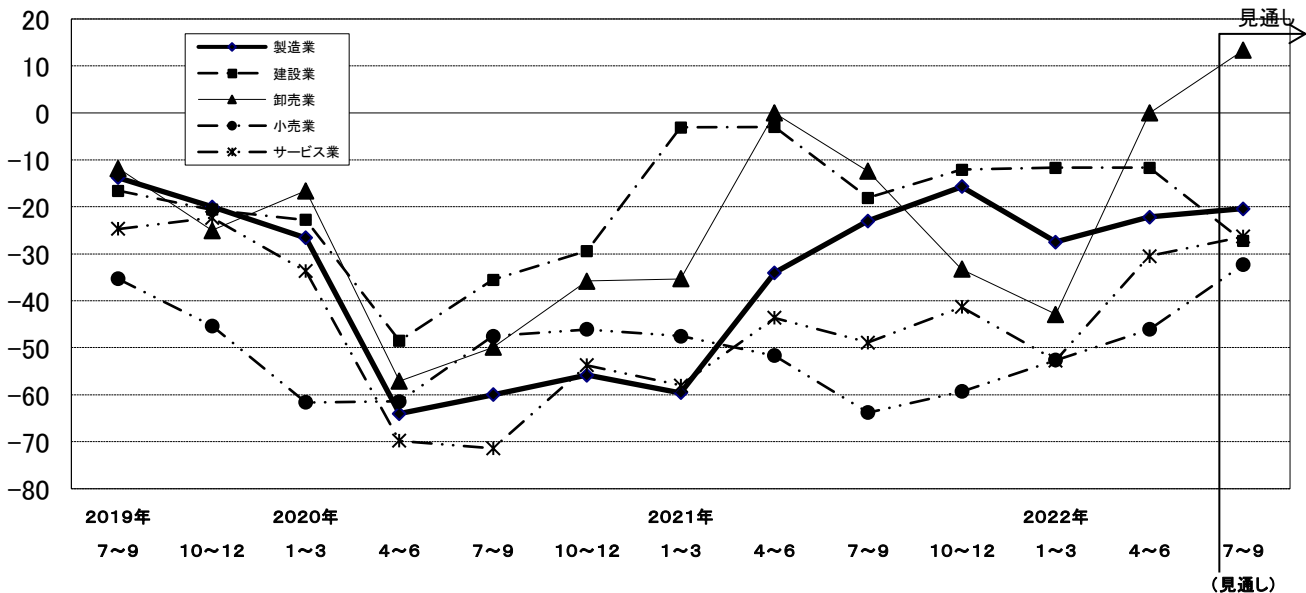
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
2021年4～6月実績	△ 35.6	△ 29.5	△ 35.4	△ 31.7	△ 24.5	7.0	△ 31.9	△ 19.8	△ 17.6	△ 18.4
2021年7～9月実績	△ 40.7	△ 33.6	△ 44.1	△ 35.2	△ 36.2	5.7	△ 41.2	△ 28.4	△ 23.4	△ 18.6
2021年10～12月実績	△ 36.0	△ 32.7	△ 39.5	△ 33.5	△ 28.2	4.0	△ 38.4	△ 26.5	△ 26.8	△ 19.1
2022年1～3月実績	△ 41.4	△ 26.2	△ 46.5	△ 38.7	△ 17.3	2.4	△ 47.1	△ 27.3	△ 24.4	△ 13.5
2022年4～6月実績	△ 28.5	△ 19.4	△ 31.4	△ 23.7	△ 15.7	3.1	△ 37.8	△ 15.9	△ 14.1	△ 26.0
2022年7～9月見通し	△ 24.3	△ 11.4	—	△ 12.4	—	—	△ 36.8	△ 18.7	—	—

産業別（2022年4～6月期）

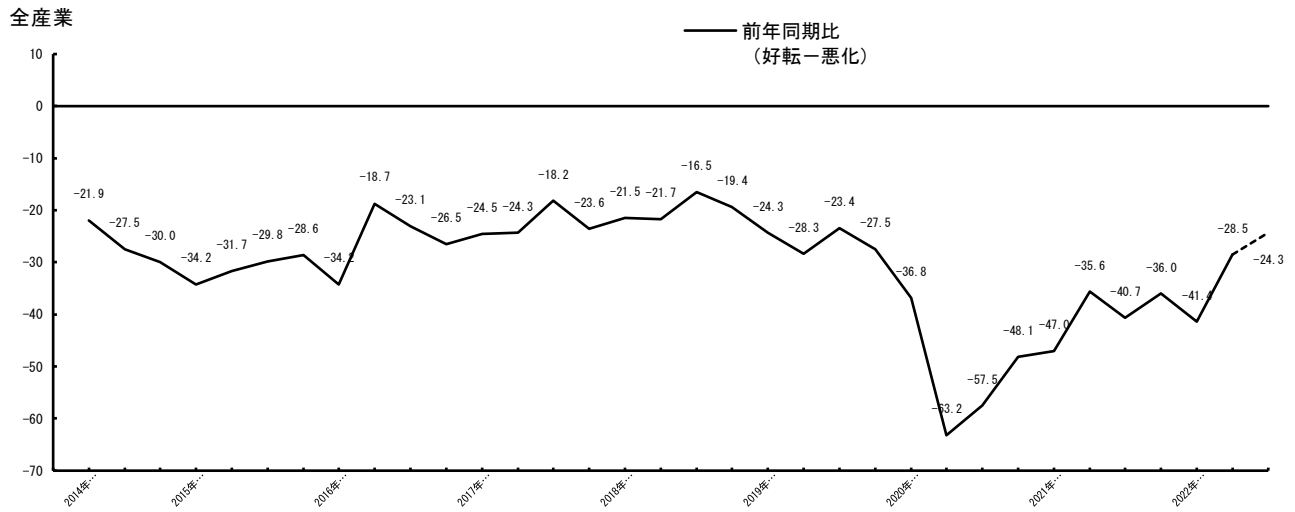
	業況判断			売上額		在庫水準判断	経常利益	資金繰り		従業員数過不足
	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準	前年同期比	前年同期比	前期比 (季調済)	今期の水準
製造業	△ 22.2	△ 14.0	△ 22.2	△ 3.7	6.0	△ 10.9	△ 33.3	△ 7.6	△ 5.6	△ 33.4
建設業	△ 11.7	△ 13.3	△ 17.7	△ 36.4	△ 40.5	—	△ 29.4	△ 9.1	△ 10.4	△ 50.0
卸売業	0.0	△ 29.1	△ 5.2	0.1	△ 9.8	15.8	0.0	0.0	△ 14.3	△ 15.8
小売業	△ 46.1	△ 23.6	△ 47.6	△ 30.8	△ 18.6	9.4	△ 52.2	△ 31.7	△ 19.7	△ 14.6
サービス業	△ 30.5	△ 15.6	△ 35.4	△ 30.9	△ 8.9	—	△ 40.6	△ 15.6	△ 13.2	△ 21.7

注：製造業の輸出額DI（前年同期比）は △ 7.7 生産設備過不足DI（今期の水準）は △ 15.1

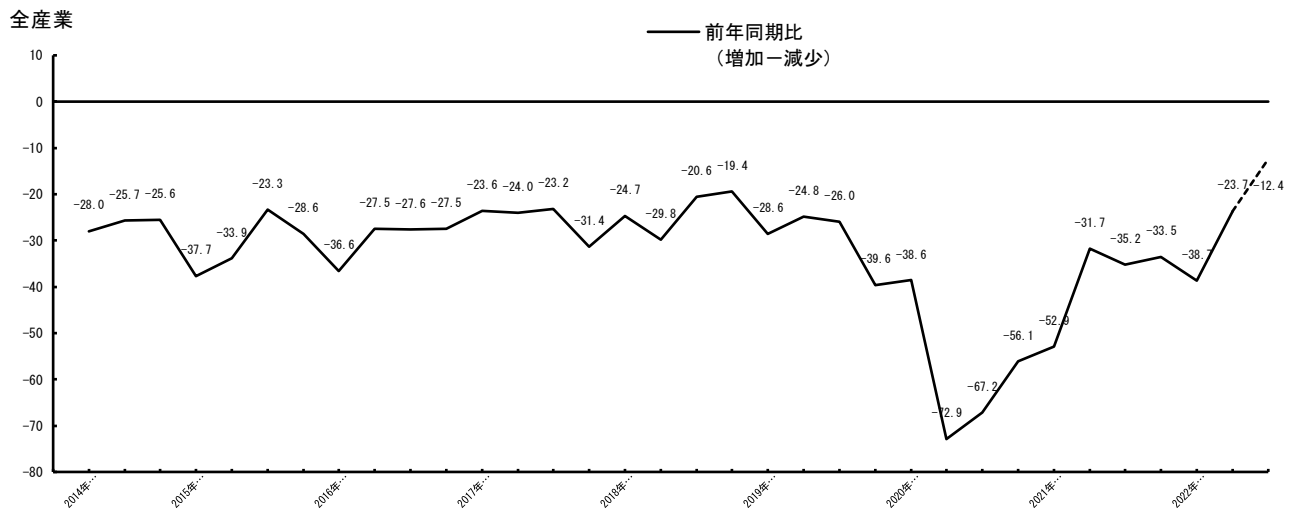
産業別 過去3年間の業況DI(前年同期比)の推移
(2019年7～9月期～2022年4～6月期)



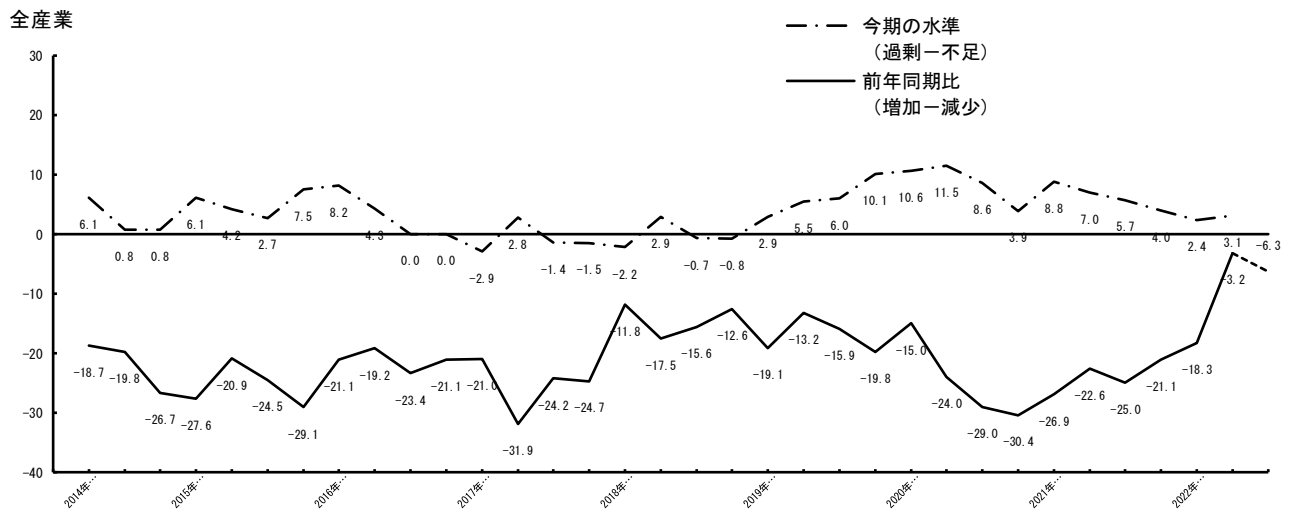
業況判断の動向（D I）



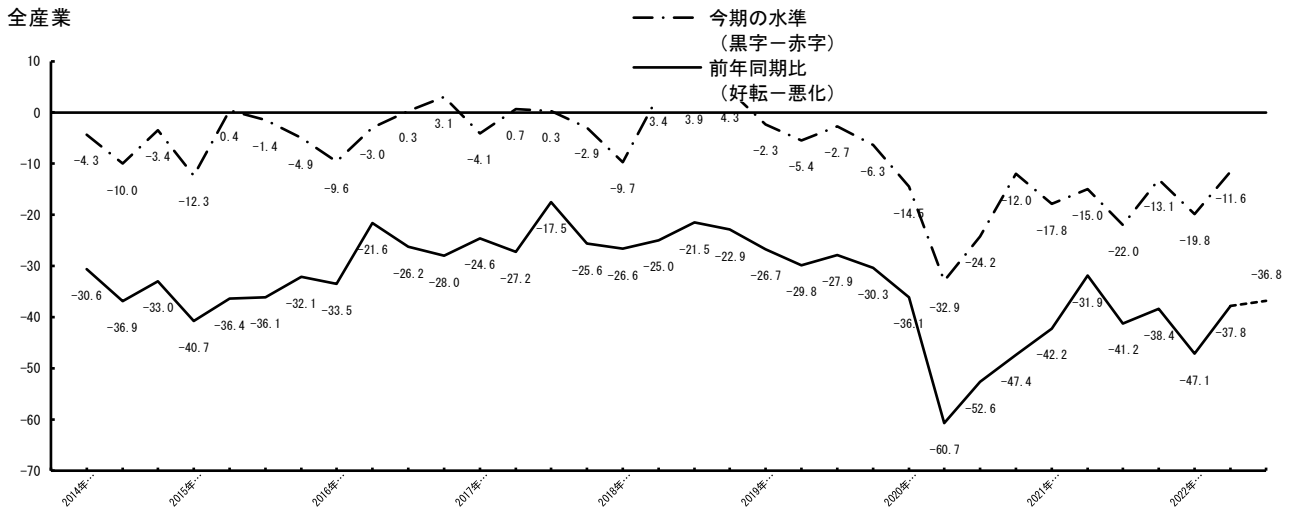
売上額の動向（D I）



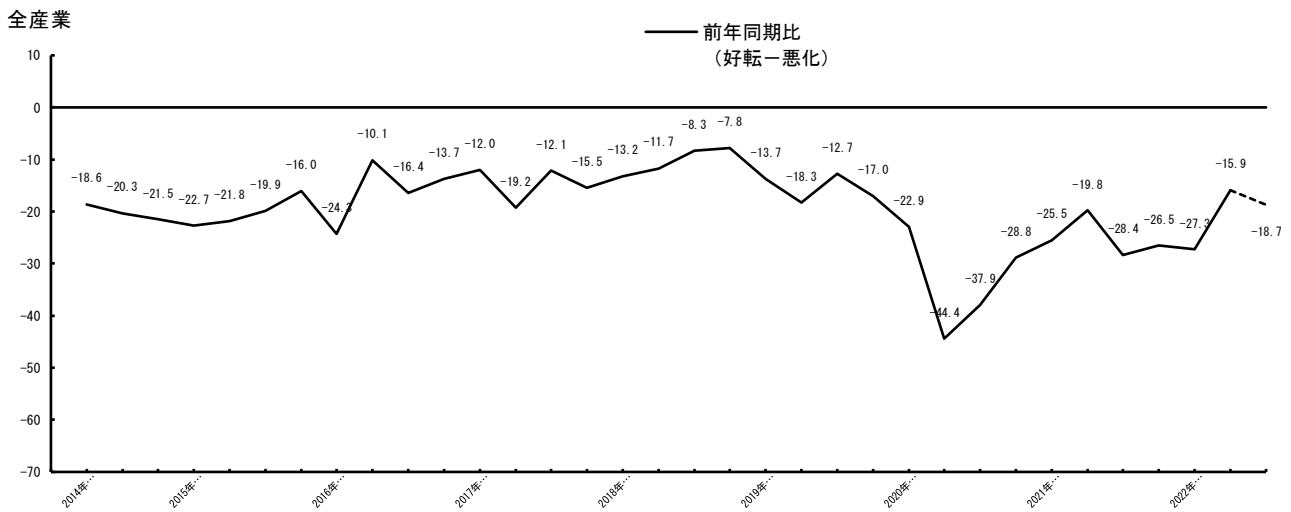
製品・商品在庫の動向（D I）



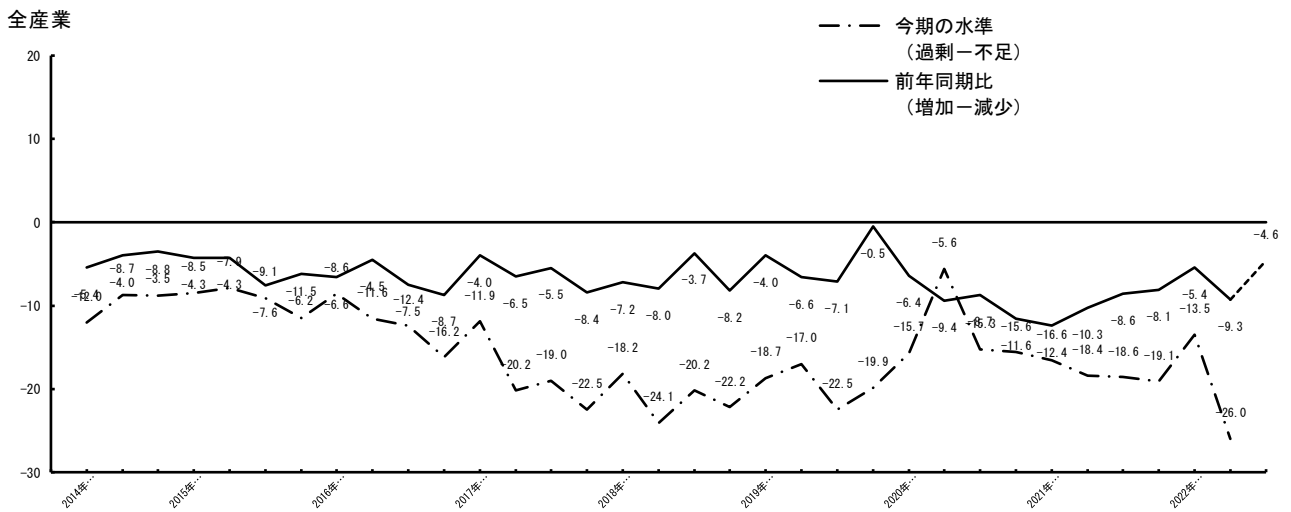
経常利益の動向 (D I)



資金繰りの動向 (D I)



従業員数 (臨時・パート等を含む) の動向 (D I)



業況判断D I（「好転」－「悪化」）

		実 績					来期見通し	
		2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	
全 産 業	前年同期比	△ 35.6 (△ 35.1)	△ 40.7 (△ 38.8)	△ 36.0 (△ 38.2)	△ 41.4 (△ 28.2)	△ 28.5 (△ 36.4)	△ 24.3	
	[前期比・季調済]	[△ 29.5] (△ 32.1)	[△ 33.6] (△ 27.5)	[△ 32.7] (△ 31.7)	[△ 26.2] (△ 28.6)	[△ 19.4] (△ 33.2)	[△ 11.4]	
製 造 業	前年同期比	△ 34.0 (△ 24.4)	△ 23.0 (△ 24.5)	△ 15.7 (△ 22.0)	△ 27.5 (△ 11.8)	△ 22.2 (△ 22.0)	△ 20.4	
	[前期比・季調済]	[△ 25.2] (△ 21.2)	[△ 17.7] (△ 14.4)	[△ 3.7] (△ 18.7)	[△ 3.7] (△ 8.6)	[△ 14.0] (△ 16.5)	[△ 11.5]	
建 設 業	前年同期比	△ 3.0 (△ 31.3)	△ 18.1 (△ 36.3)	△ 12.1 (△ 30.3)	△ 11.7 (△ 27.3)	△ 11.7 (△ 15.6)	△ 27.3	
	[前期比・季調済]	[△ 19.1] (△ 35.7)	[△ 18.8] (△ 31.0)	[△ 15.1] (△ 30.2)	[△ 9.3] (△ 33.6)	[△ 13.3] (△ 9.7)	[△ 18.9]	
卸 売 業	前年同期比	0.0 (△ 12.5)	△ 12.4 (△ 13.3)	△ 33.3 (0.0)	△ 42.9 (△ 20.0)	0.0 (△ 33.4)	13.3	
	[前期比・季調済]	[24.3] (△ 17.5)	[△ 2.2] (△ 9.9)	[△ 42.0] (△ 0.3)	[△ 29.7] (△ 24.5)	[△ 29.1] (△ 27.8)	[1.8]	
小 売 業	前年同期比	△ 51.7 (△ 45.1)	△ 63.8 (△ 51.7)	△ 59.3 (△ 49.9)	△ 52.6 (△ 39.7)	△ 46.1 (△ 45.5)	△ 32.3	
	[前期比・季調済]	[△ 42.1] (△ 41.4)	[△ 49.1] (△ 40.0)	[△ 55.0] (△ 40.3)	[△ 34.8] (△ 39.1)	[△ 23.6] (△ 42.0)	[△ 16.3]	
サ ー ビ ス 業	前年同期比	△ 43.6 (△ 39.3)	△ 48.9 (△ 43.4)	△ 41.3 (△ 48.9)	△ 52.7 (△ 31.5)	△ 30.5 (△ 46.2)	△ 26.3	
	[前期比・季調済]	[△ 31.7] (△ 33.0)	[△ 45.3] (△ 29.4)	[△ 39.0] (△ 36.9)	[△ 43.7] (△ 34.8)	[△ 15.6] (△ 46.6)	[△ 8.6]	

注：（ ）内は1期前における当期見通し

業況水準判断D I（「良い」－「悪い」）

		今 期 の 水 準				
		2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期
全 産 業		△ 35.4	△ 44.1	△ 39.5	△ 46.5	△ 31.4
製 造 業		△ 16.9	△ 29.4	△ 17.7	△ 38.5	△ 22.2
建 設 業		△ 12.1	△ 15.2	△ 21.2	△ 15.1	△ 17.7
卸 売 業		△ 18.8	△ 43.6	△ 43.6	△ 46.6	△ 5.2
小 売 業		△ 59.8	△ 67.2	△ 62.7	△ 62.2	△ 47.6
サ ー ビ ス 業		△ 40.4	△ 47.8	△ 42.6	△ 52.1	△ 35.4

売上額D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し	
		2021年 4~6月期	7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	
全 産 業	前年同期比	△ 31.7 (△ 42.2)	△ 35.2 (△ 40.5)	△ 33.5 (△ 36.3)	△ 38.7 (△ 25.7)	△ 23.7 (△ 39.8)	△ 12.4	
	[前期比・季調済]	[△ 24.5]	[△ 36.2]	[△ 28.2]	[△ 17.3]	[△ 15.7]	[—]	
製 造 業	前年同期比	△ 32.0 (△ 33.3)	△ 15.3 (△ 25.0)	△ 2.0 (△ 15.4)	△ 3.8 (△ 5.9)	△ 3.7 (△ 7.7)	3.7	
	[前期比・季調済]	[△ 9.6]	[△ 19.0]	[△ 7.4]	[8.8]	[6.0]	[—]	
建 設 業	前年同期比	△ 3.1 (△ 42.3)	△ 15.1 (△ 30.3)	△ 12.1 (△ 39.4)	△ 23.5 (△ 36.4)	△ 36.4 (△ 38.2)	△ 39.4	
	[前期比・季調済]	[△ 22.2]	[△ 18.0]	[△ 13.2]	[△ 14.1]	[△ 40.5]	[—]	
卸 売 業	前年同期比	△ 6.2 (△ 23.6)	△ 18.6 (△ 31.3)	△ 56.1 (△ 6.3)	△ 46.7 (△ 13.4)	0.1 (△ 60.0)	15.8	
	[前期比・季調済]	[13.4]	[5.0]	[△ 39.6]	[△ 42.7]	[△ 9.8]	[—]	
小 売 業	前年同期比	△ 49.2 (△ 45.9)	△ 46.5 (△ 56.4)	△ 47.5 (△ 43.1)	△ 46.5 (△ 32.3)	△ 30.8 (△ 39.6)	△ 23.2	
	[前期比・季調済]	[△ 32.9]	[△ 43.2]	[△ 41.6]	[△ 20.9]	[△ 18.6]	[—]	
サ ー ビ ス 業	前年同期比	△ 34.1 (△ 47.8)	△ 49.0 (△ 43.6)	△ 45.8 (△ 47.9)	△ 56.9 (△ 30.8)	△ 30.9 (△ 54.7)	△ 10.4	
	[前期比・季調済]	[△ 22.5]	[△ 59.4]	[△ 31.3]	[△ 37.6]	[△ 8.9]	[—]	

注：() 内は1期前における当期見通し

売上(加工)数量・客数の動向D I (「増加」-「減少」)

		実 績					来期見通し	
		2021年 4~6月期	7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期	
製 造 業 売上(加工)数量	前年同期比	△ 22.7 (△ 33.3)	△ 15.4 (△ 21.1)	△ 9.8 (△ 15.4)	△ 13.5 (△ 13.7)	△ 5.5 (△ 9.6)	0.0	
	[前期比・季調済]	[△ 11.4]	[△ 15.6]	[△ 10.0]	[0.2]	[6.8]	[—]	
小 売 業 客 数	前年同期比	△ 62.3 (△ 50.8)	△ 66.2 (△ 58.1)	△ 58.7 (△ 57.8)	△ 58.6 (△ 49.1)	△ 57.0 (△ 53.4)	△ 35.5	
	[前期比・季調済]	[△ 38.6]	[△ 54.3]	[△ 50.0]	[△ 35.2]	[△ 34.3]	[—]	
サ ー ビ ス 業 利 用 客 数	前年同期比	△ 34.4 (△ 42.4)	△ 46.8 (△ 40.8)	△ 44.7 (△ 48.9)	△ 55.7 (△ 37.5)	△ 24.2 (△ 50.4)	△ 24.0	
	[前期比・季調済]	[△ 28.0]	[△ 57.6]	[△ 40.7]	[△ 38.5]	[△ 13.7]	[—]	

注：() 内は1期前における当期見通し

輸出額D I（「増加」－「減少」）

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
製造業	△ 33.3 (△ 25.0)	△ 15.4 (0.0)	△ 14.3 (△ 7.7)	△ 14.3 (△ 21.4)	△ 7.7 (△ 14.3)	△ 7.1

注：（）内は1期前における当期見通し

在庫水準判断D I（「過剰」－「不足」）

	今期の水準				
	2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期
全産業	7.0	5.7	4.0	2.4	3.1
製造業	2.0	△ 10.4	△ 8.3	△ 2.0	△ 10.9
卸売業	29.4	50.0	25.0	20.0	15.8
小売業	4.8	6.9	8.4	1.8	9.4

価格の動向

	仕入単価D I（「上昇」－「低下」） 前年同期比				
	2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期
全産業	33.8	39.3	49.2	60.7	72.6
製造業	56.2	70.3	76.0	80.8	89.6
建設業	45.5	54.5	78.8	76.6	88.2
卸売業	35.3	31.2	43.6	53.3	78.9
小売業	32.2	35.1	35.5	56.9	57.9
サービス業	18.0	21.7	34.8	48.4	66.9

		売上単価D I（「上昇」－「低下」）				
		2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期
全産業	前年同期比	△ 23.7	△ 23.2	△ 18.7	△ 17.7	△ 1.3
	[前期比・季調済]	[△ 11.6]	[△ 18.9]	[△ 18.4]	[△ 14.1]	[△ 3.8]
製造業	前年同期比	△ 9.4	7.7	2.0	21.2	18.5
	[前期比・季調済]	[2.0]	[2.7]	[△ 0.6]	[11.5]	[12.7]
卸売業	前年同期比	29.4	0.0	12.5	20.0	57.8
	[前期比・季調済]	[24.4]	[12.1]	[10.2]	[23.8]	[54.8]
小売業	前年同期比	△ 42.7	△ 44.9	△ 27.7	△ 34.4	△ 17.0
	[前期比・季調済]	[△ 24.0]	[△ 29.5]	[△ 30.7]	[△ 23.7]	[△ 17.1]
サービス業	前年同期比	△ 29.1	△ 30.8	△ 29.7	△ 34.7	△ 13.7
	[前期比・季調済]	[△ 16.1]	[△ 31.2]	[△ 24.7]	[△ 28.2]	[△ 12.6]

経常利益D I (「好転」－「悪化」)

	前 年 同 期 比					
	実 績					来期見通し
	2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期
全 産 業	△ 31.9 (△ 35.4)	△ 41.2 (△ 36.7)	△ 38.4 (△ 41.6)	△ 47.1 (△ 35.6)	△ 37.8 (△ 42.6)	△ 36.8
製 造 業	△ 35.9 (△ 31.3)	△ 39.2 (△ 34.0)	△ 27.5 (△ 38.5)	△ 34.6 (△ 23.6)	△ 33.3 (△ 23.5)	△ 28.9
建 設 業	△ 12.1 (△ 40.6)	△ 36.4 (△ 30.3)	△ 27.3 (△ 45.4)	△ 26.5 (△ 39.4)	△ 29.4 (△ 44.1)	△ 39.4
卸 売 業	0.0 (△ 11.7)	△ 6.1 (△ 17.7)	△ 31.1 (△ 6.2)	△ 26.7 (△ 18.7)	0.0 (△ 26.6)	5.5
小 売 業	△ 43.5 (△ 39.3)	△ 53.5 (△ 46.9)	△ 47.5 (△ 47.4)	△ 62.0 (△ 37.3)	△ 52.2 (△ 51.7)	△ 50.8
サービス業	△ 34.8 (△ 37.4)	△ 42.6 (△ 37.4)	△ 43.6 (△ 44.6)	△ 55.2 (△ 42.6)	△ 40.6 (△ 49.5)	△ 39.0

注：()内は1期前における当期見通し

金融の動向

		2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期
資金繰りD I 「好転」－「悪化」	全産業	△ 19.8 [△ 17.6]	△ 28.4 [△ 23.4]	△ 26.5 [△ 26.8]	△ 27.3 [△ 24.4]	△ 15.9 [△ 14.1]
	製造業	△ 22.6 [△ 13.5]	△ 17.3 [△ 15.1]	△ 19.6 [△ 16.3]	△ 11.6 [△ 18.9]	△ 7.6 [△ 5.6]
長期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[△ 7.8]	[△ 15.7]	[△ 9.3]	[△ 13.6]	[△ 6.5]
	製造業	[△ 12.3]	[△ 7.6]	[△ 8.6]	[△ 11.1]	[△ 12.0]
短期資金借入難易度 「容易」－「困難」	全産業	[△ 7.9]	[△ 9.9]	[△ 6.3]	[△ 10.0]	[△ 6.3]
	製造業	[△ 3.7]	[△ 2.3]	[△ 4.1]	[△ 5.2]	[△ 6.5]
借入金利D I 「上昇」－「低下」	全産業	[△ 5.2]	[△ 2.7]	[△ 3.3]	[△ 4.7]	[△ 2.4]
	製造業	[3.1]	[△ 2.4]	[△ 6.7]	[△ 10.3]	[△ 1.5]

注：[]内は前期比(季調済)、それ以外は前年同期比

従業員数D I (「増加」-「減少」)

	前年同期比					
	実績					来期見通し
	2021年 4~6月期	7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期	7~9月期
全産業	△ 10.3 (△ 10.7)	△ 8.6 (△ 9.8)	△ 8.1 (△ 9.5)	△ 5.4 (△ 9.1)	△ 9.3 (△ 3.7)	△ 4.6
製造業	4.0 (△ 15.9)	△ 10.2 (△ 4.1)	△ 10.4 (△ 6.1)	△ 14.3 (△ 14.6)	△ 4.2 (△ 6.3)	6.4
建設業	△ 12.5 (△ 25.0)	△ 6.1 (△ 9.4)	△ 6.1 (△ 12.1)	△ 2.9 (△ 15.2)	△ 15.1 (△ 8.8)	△ 18.8
卸売業	5.8 (18.8)	0.0 (△ 5.9)	△ 6.3 (△ 6.3)	0.0 (6.3)	0.0 (7.2)	0.0
小売業	△ 6.4 (△ 2.0)	0.0 (2.2)	△ 2.2 (△ 4.5)	2.2 (△ 2.2)	△ 7.4 (4.5)	△ 7.3
サービス業	△ 23.8 (△ 13.3)	△ 15.3 (△ 21.3)	△ 11.5 (△ 14.1)	△ 6.2 (△ 10.2)	△ 13.4 (△ 6.1)	△ 4.8

注：()内は1期前における当期見通し

従業員数過不足D I (「過剰」-「不足」)

	今期の水準				
	2021年 4~6月期	7~9月期	10~12月期	2022年 1~3月期	4~6月期
全産業	△ 18.4	△ 18.6	△ 19.1	△ 13.5	△ 26.0
製造業	△ 16.0	△ 8.3	△ 14.6	△ 2.0	△ 33.4
建設業	△ 40.6	△ 54.5	△ 48.5	△ 45.5	△ 50.0
卸売業	△ 6.3	0.0	6.3	6.7	△ 15.8
小売業	△ 6.3	△ 6.2	△ 8.5	△ 4.5	△ 14.6
サービス業	△ 20.8	△ 21.2	△ 21.0	△ 16.0	△ 21.7

設備投資実施企業割合（実施企業／回答企業×100）単位：％

	実 績					来期計画	
	2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期	7～9月期	
全 産 業	17.4	16.9	14.0	12.2	13.9	16.4	
製 造 業	14.6	9.8	8.7	6.7	8.3	13.2	
建 設 業	24.2	21.2	15.2	23.5	26.5	23.5	
卸 売 業	31.2	31.2	6.7	20.0	10.5	11.1	
小 売 業	11.3	18.2	9.1	7.0	11.3	15.9	
サービス業	18.1	16.0	20.2	12.6	14.6	17.0	

生産設備過不足感D I（「過剰」－「不足」）

	今 期 の 水 準				
	2021年 4～6月期	7～9月期	10～12月期	2022年 1～3月期	4～6月期
製 造 業	△ 5.6	△ 9.8	△ 7.8	△ 5.8	△ 15.1

経営上の問題点

	今期直面している経営上の問題点				
	1位 (%)	2位 (%)	3位 (%)	4位 (%)	5位 (%)
製造業	原材料価格の上昇 50.0 (36.2) 〔 40.8 〕	需要の停滞 17.3 (14.9) 〔 16.3 〕	従業員の確保難 11.5 (19.1) 〔 16.3 〕	生産設備の不足・老朽化 5.8 (10.6) 〔 8.2 〕	原材料の不足 3.8 (2.1) 〔 2.0 〕
建設業	材料価格の上昇 44.1 (36.4) 〔 41.9 〕	官公需要の停滞 11.8 (15.2) 〔 3.2 〕	材料費・人件費以外の経費の増加 8.8 (6.1) 〔 0.0 〕	従業員の確保難 8.8 (9.1) 〔 6.5 〕	下請業者の確保難 8.8 (0.0) 〔 3.2 〕
卸売業	仕入単価の上昇 47.1 (26.7) 〔 20.0 〕	販売単価の低下・上昇難 11.8 (0.0) 〔 6.7 〕	需要の停滞 11.8 (20.0) 〔 13.3 〕	小売業の進出による競争の激化 5.9 (6.7) 〔 6.7 〕	人件費の増加 5.9 (0.0) 〔 0.0 〕
小売業	大・中型店の進出による競争の激化 25.0 (14.3) 〔 23.2 〕	需要の停滞 21.9 (17.9) 〔 17.9 〕	仕入単価の上昇 18.8 (21.4) 〔 12.5 〕	販売単価の低下・上昇難 6.2 (5.4) 〔 7.1 〕	購買力の他地域への流出 4.7 (17.9) 〔 14.3 〕
サービス業	材料等仕入単価の上昇 23.9 (12.9) 〔 15.7 〕	利用者ニーズの変化への対応 18.2 (15.3) 〔 19.3 〕	需要の停滞 11.4 (21.2) 〔 19.3 〕	店舗施設の狭隘・老朽化 9.1 (11.8) 〔 9.6 〕	人件費以外の経費の増加 8.0 (8.2) 〔 4.8 〕

注： () 内は前期構成比
〔 〕 内は前々期構成比 いずれも問題点の1位にあげた企業の割合